

あほのだら

友衛 友衛



荒尾市での行進団 (23日)



大牟田市での行進団 (24日)

原水爆禁止一九八三年世界大会準備委員会がすでに決定している「世界大会・国際会議で討議すべき項目(大綱)」は次の五項目です。

- ①核軍備競争と核戦争危機について
- ②反核・軍縮・平和運動の当面する問題と課題
- ③史上最初の核戦争としての広島・長崎を現在の核戦争危機の克服に生かすために
- ④平和・軍縮・人権・環境のための教育、メディア、科学、芸術、宗教などの活動について

また国連とNGO運動、⑤原子力開発と核拡散の諸問題。

世界大会 国際会議 での討議項目 (大要)

| 月日 | 時間 | 行事内容 | 場所 |
|-----|-------------|-----------------------|----------------|
| 8/1 | 13:00~17:00 | 国際会議・開会総会 | 東京・上野池之端文化センター |
| " | 18:30~20:30 | 海外代表団レセプション | " |
| 8/2 | 9:00~17:00 | 国際会議・分科会 | " |
| 8/3 | 午前中 | 国際会議起草委員会分科会 | " |
| " | 13:00~16:00 | 国際会議・閉会総会 | " |
| " | 17:00~18:30 | 世界大会・東京集会 | 東京・日比谷公園小音楽堂 |
| 8/6 | 13:00~14:00 | 平和行進 | 広島市内 |
| " | 14:30~16:30 | '83世界大会 "ヒロシマのひろば" | 広島県立体育館 |
| 8/8 | 10:00~15:00 | '83世界大会・分科会 | 長崎市内と佐世保 |
| " | 15:30~16:30 | '83平和行進・長崎 終結行進 | 長崎市内 |
| 8/9 | 9:30~12:30 | '83世界大会・長崎 | 国際体育館 |

※三池労組から広島大会へ1人、長崎大会へ5人参加します。



質問にこたえて

労働部、または保安担当者におたずねします。

一、当該切羽(掘進)で「マイ」が不足したので、隣りの切羽へ借りに行きましたが、その人は無資格者です。当該係員に注意したところ、係員は「マイ」運搬の心得など十分指示したので間違いはない」といいます。これは規則違反だと思いませんか。

一、発破係員が入・昇坑するとき、いろいろ携帯品が多いことは認めますが「ガス検定器」を、係員に持たせて入・昇坑するのを見かけます。これは問題ありませんか。

一、某日、夜勤のとき、固定局の係員が欠勤しました。出勤が悪く補充する者がいなかった

一、保安規程、火薬類の携帯に関する事項、第一節に違反しています。

一、ガス検定器の常時携帯に関する規程はありませんが、常時携帯するのが当然でしょうか。

一、上司の指示がどうかかわりませんが、本来の任務から考えた場合、問題のあるところですか。

一、長物について規程はありませんが、各鉱山に検討され、一定の基準があります。(労働部)

たのか、当日は、三交替の坑内保安巡回係員が、本来の任務を離れて固定局のマイク応答に従事しましたが、これはどうですか。

一、坑内に「長物」を担いで入・昇坑するのをよく見かけます。『長物運搬』についての規程があれば教えてください。(一分会 一労働者)

おこたえ

一、保安規程、火薬類の携帯に関する事項、第一節に違反しています。

一、ガス検定器の常時携帯に関する規程はありませんが、常時携帯するのが当然でしょうか。

一、上司の指示がどうかかわりませんが、本来の任務から考えた場合、問題のあるところですか。

一、長物について規程はありませんが、各鉱山に検討され、一定の基準があります。(労働部)



なま

十五分会(三川) 西村 保

昭和二十一年九月十五日万田鉱の起業工として入社、二十六年九月の三川・万田鉱合併により、三川開発仕組(常)工として配転され、三十八年三池大災害で罹災、現在万田作業所で働いている。

職場での「西村保」評。

「保ちゃんは無口ぼつてん、よく職場の面倒をみてくれる」「雄弁家にはほど遠いが、頼りがいがある」

「役員会でも、一度言いだしたら自分が納得するまで妥協しない」



西村さんは、荒尾市本井平2496の自宅で、妻の幸子さん(51)、長男の秀美さん(27)、二男の良二さん(24)の四人暮らし。

平和行進すすむ

鹿兒島から長崎へ

災天下、核兵器廃絶訴えて

核兵器廃絶と被爆者援護法制定などを訴え、さらに「被爆国日本と世界を核戦場にさせるな」「核基地を撤去せよ」と全国津々浦々から広島、長崎をめざして平和行進がつけられています。

平和行進は、一九五八年に日本山妙法寺の提起で始められ、六四年に分裂しましたが、昨年原水禁世界大会準備委員会が協賛の形で加わることで統一行進が実現し、今年も幹線コースは準備委員会が主催して統一行進が行なわれています。網の目のローカル行進は、原水禁・原水協の主催でそれぞれ取り組まれています。

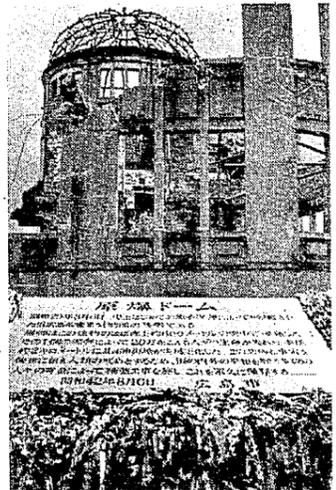
鹿兒島を七月五日に出発した原水禁平和行進は、二十三日玉名から荒尾に到着、市長交渉のあと荒尾市役所前庭で午後一時から歓迎集会を開きました。そのあと荒尾県境まで行進し、労働金庫荒尾支店三階ホールで交流会が開かれました。

翌二十四日、荒尾の行進団から引き続き大牟田では、午前九時から市役所前で市民大会が開かれ、大会のあと柳川をめざして行進しました。

この行進団には三池労組から芳川組織部長、森澤さん(一分会)、四山、黒田勝徳さん(十分会)、三川、平川勝徳さん(十六分会)、本所、山田武俊さん(十八分会)、港務の五人が参加しました。

この行進団は八月八日から開かれる原水禁世界大会にむけて、鹿兒島を歩きつづけていますが、核兵器をめぐり情勢がつかぬ、重大化する中で今年の大会は、日本と世界の平和にとってきわめて重要な大会となります。

平和豆辞典



永久に保存される原爆ドーム

◎原爆の総合的被害
日本の侵略戦争の敗戦が決定的となった一九四五年八月六日午前八時十五分、広島に史上初のウラン二三五を使った原爆が投下され、続いて八月九日午前十一時二分、今度は長崎にプルトニウム二三九を使った原爆が投下されました。

この結果、広島で約四十二万人、長崎で約三十一万人の人々が被爆し、このうち広島で約十七万人、長崎で約八万五千もの死亡者を出したと推定されています。

◎第二次大戦の死者
一九三九年からはじまり一九四五年八月十五日(日本の無条件降伏)に終わった第二次大戦は、全世界の人口の五分の四を戦争に巻き込みました。動員された兵士は八千万、一億一千万。軍人と市民の死者は二千二百四十六万人、負傷者三千四百四十万人(平井社『世界大百科事典』)。しかし、これは極めて低く見積もった数字で、最近の研究によれば死者は、日本、ドイツ、中国、ソ連だけでそれぞれ三百十、六百五十五、一千、二千万人で、第二次大戦(死者一千万人)と比べ三倍ともいわれます。(『平和教育実践事典』)

◎外国人の強制労働
第二次大戦前、日本軍が占領支配した国では、多くの人が悲惨

で非人道的な強制労働・強制連行にあいました。町の中で「使えそうな男を片っぴしから、捕え」、トラックで運ぶ方式がとられ、朝鮮では一九四四年度に九十万人、中国の華北では一九四一年だけで二百四十万人が連行されました。日本軍が占領したベトナムなど東南アジアでも同じで、多数が死にました。また、日本は一九三九年から朝鮮人七十二万人推定を、四二年からは中国人四万人(同)を日本に強制連行、劣悪な労働条件で危険な作業に従事させました。これらは日本帝国主義の侵略戦争による直接の虐殺、暴行などと合わせ、日本の加害者としての姿をつまびらかにするものです。

◎NATO・WTO 非同盟
ソ連に対抗する一九四九年、米国を中心に十二カ国で締結された北大西洋条約機構(NATO)と、これに脅威を覚えたソ連を中心とする社会主義諸国八カ国が締結した(五五年)のがワルシャワ条約機構(WTO)。両陣営の中心国米・ソはその後、核軍拡競争をエスカレートさせ、その対立は今日の核戦争の危機の根源になっています。これに対し、五〇年代から六〇年代にかけて、いずれの陣営にも組み込まないという非同盟政策をとる国が弱小国の間で増えはじめ、今日では国連の多数を占めています。